

増毛町林道施設長寿命化計画 (個別施設計画)

計画期間

自 令和 2年4月 1日

至 令和12年3月31日

増毛町役場

令和2年2月

増毛町林道施設長寿命化計画（個別施設計画）

1. 基本的事項

増毛町における林道施設は林道橋3施設で、平成3年から平成8年までに建設されている。財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(昭和43年3月31日大蔵省令第15号)」によると橋梁の耐用年数は60年であり、建設年度が最も古い「静林橋」においても供用年数が28年である事から、耐用年数を経過する林道施設は2051年度から出現する事となる。現段階から林道施設の現状を個別に把握するとともに、現状を踏まえた施設毎の維持管理・更新等を実施する持続可能なメンテナンスサイクルを構築する事によって、林道施設維持管理費用の縮減及び平準化を図る事が重要である。

本計画は予防保全型維持管理の考え方を導入し、持続可能なメンテナンスサイクル構築に向けた取組を進めるために策定するものである。

2. 対象施設

本計画の対象とする施設は別紙のとおり。

3. 計画期間

本計画における施設毎の計画期間は別紙のとおり。

4. 施設の優先度

本計画における施設毎の優先度は別紙のとおり。

5. 施設の状態等

本計画の策定に当たって実施した点検・診断により把握された施設毎の状態については別紙のとおり。

6. 対策内容と実施時期

上記「施設の優先度」及び「施設の状態等」を踏まえ、施設毎に講じる対策の内容及び実施の時期について別紙のとおり計画する。

7. 対策費用

個別施設毎の対策費用の概算については別紙のとおり。なお、この金額は計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合がある。

個別施設計画一覧表(橋梁)

番号	優先度	個別施設整理番号	林道台帳索引番号	路線名	林道種類及び区分	橋梁名	所在地	起点からの距離	建設年度	供用年数	種別	型式	道路橋示方書	橋格(設計荷重)	橋下条件	橋長(m)	幅員(m)	上部工型式	橋台工型式	橋脚工型式	海岸からの距離(km)	林道管理区分	施業計画				施設の現況			計画内容				優先度	措置記録					備考	
																							主伐・間伐		その他の施業		点検実施年月日	判定区分	所見等	計画期間	内容		実施予定時期		対策費用(概算:百万円)	実施年月日	内容		再判定実施年月日		再判定区分
																							年度	面積(ha)	年度	面積(ha)					分類	概要(数量)					分類	概要(数量)			
1	③	1	6	笹沼湯の沢線	普通、自動車道1級	小川橋	増毛郡増毛町舎熊	4600m	1996	23	鋼橋	合成H鋼桁	平成6年	A活荷重(25t)	河川	23.0m	8.2m(5.0m)	H型鋼(合成)	不明	—	—	開放(区間)林道	R2	713.0	R3	713.0	令和元年8月16日	II	桁腐食	令和2年度～令和11年度	点検	定期点検	令和6年	1.20	中～下						
2	③	2	6	笹沼湯の沢線	普通、自動車道1級	静林橋	増毛郡増毛町舎熊	7483m	1991	28	鋼橋	合成H鋼桁	平成2年	一等級(TL-20)	河川	14.98m	3.2m(4.0m)	H型鋼(合成)	逆T式橋脚	—	—	開放(区間)林道	R2	713.0	R3	713.0	令和元年8月16日	II	縦壁ひび割れ	令和2年度～令和11年度	点検	定期点検	令和6年	1.20	中～下						
3	④	3	5	別荘線	普通、自動車道2級	第2紅葉橋	増毛郡増毛町別荘	11024m	1992	27	PC床版橋	PC桁	平成2年	一等級(TL-20)	河川	8.4m	5.2m(4.0m)	プレテン床版	不明	—	—	開放(区間)林道	R2	556.0	R3	556.0	令和元年8月16日	I	土砂堆積	令和2年度～令和11年度	点検	定期点検	令和6年	1.00	下						

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	6	施設管理者	増毛町
路線名	笹沼湯の沢線	林道種類及び区分	普通、自動車道1級	橋梁名	小川橋
施設の所在地	増毛郡増毛町舎熊	起点からの距離	4600m	建設年度	1996
供用年数	23	種別	鋼橋	型式	合成H鋼桁
道路橋示方書	平成6年	橋格(設計荷重)	A活荷重(25t)	橋下条件	河川

林道管理区分	開放(区間)林道	理由	森林施業が5ヶ年以内に見込まれる		
利用区域内施業計画	計画年度	R2	施業種別	伐採、運搬	面積 713
	計画年度	R3	施業種別	造林、保育	面積 713

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	23.0m		幅員(車道幅員)	6.2m(5.0m)
	施設の構造等	上部工型式	H型鋼(合成)			
			鋼製(使用鋼材)	SM520B、SM400A、SS400	塗装使用の有無	有
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	・年1回程度の利用区域内施業に利用している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年8月16日				
	調査結果	・主桁、横桁、対傾構に腐食c、防食機能の劣化e→Ⅱ、床版のひび割れb、遊離石灰d→Ⅱ。 ・堅壁のひび割れb、遊離石灰d→Ⅱ、翼壁の遊離石灰e→Ⅱ、支承の腐食c、防食機能の劣化d→Ⅱ				
	健全性の診断結果	Ⅱ	鋼部材: 予防の観点から塗装塗り替えをおこなうことが望ましい。 下部構造: 予防の観点から補修をおこなうことが望ましい。			
	劣化原因	・主桁・横桁・対傾構・支承の腐食、舗装の凹凸、ひび割れ、はく離→経年劣化 ・床版・堅壁・地覆のひび割れ、遊離石灰→乾燥収縮				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	舗装の凹凸、ひび割れ、はく離に対して維持工事対応。				
	実施予定時期	R6: 橋梁定期点検				
	施設の優先度	中～下	(優先度の考え方) 管理区分③: 開放(区間)林道、森林施業(運搬作業)が年1回程度以上、橋長15m以上健全性の診断結果: Ⅱより、橋梁改良の優先順位は、18段階中13位。			
	対策費用(概算)	R6: 橋梁定期点検 約1.2(百万円)				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、舗装の凹凸、ひび割れ、はく離に対してなど維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					1.2					1.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考										
予防保全型										

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号	6	施設管理者	増毛町
路線名	笹沼湯の沢線	林道種類及び区分	普通、自動車道1級	橋梁名	静林橋
施設の所在地	増毛郡増毛町舎熊	起点からの距離	7483m	建設年度	1991
供用年数	28	種別	鋼橋	型式	合成H鋼桁
道路橋示方書	平成2年	橋格(設計荷重)	一等級(TL-20)	橋下条件	河川

林道管理区分	開放(区間)林道	理由	森林施業が5ヶ年以内に見込まれる			
利用区域内施業計画	計画年度	R2	施業種別	伐採、運搬	面積	713
	計画年度	R3	施業種別	造林、保育	面積	713

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.98m		幅員(車道幅員)	5.2m(4.0m)
	施設の構造等	上部工型式	H型鋼(合成)			
			鋼製(使用鋼材)	SM490YA、SS400	塗装使用の有無	有
		支承形式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的 利用実態等	・年1回程度の利用区域内施業に利用している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年8月16日				
	調査結果	・堅壁の遊離石灰d→Ⅱ、翼壁の土砂流出e→Ⅱ、伸縮装置の漏水e→Ⅱ。				
	健全性の診断結果	Ⅱ	全体的に損傷は軽微であり、予防保全段階であるが、経過観察とする。			
	劣化原因	・温度応力等の影響により、堅壁にひびわれ、遊離石灰が生じたものと推定される。雨水の流水により翼壁に土砂流出が生じたものと推定される。伸縮装置からの漏水痕がみられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度				
	内容	土砂堆積撤去を定期的に維持工事対応。				
	実施予定時期	R6: 橋梁定期点検				
	施設の優先度	中～下	(優先度の考え方) 管理区分③: 開放(区間)林道、森林施業(運搬作業)が年1回程度以上、橋長15m以上健全性の診断結果: Ⅱより、橋梁改良の優先順位は、18段階中13位。			
	対策費用(概算)	R6: 橋梁定期点検 約1.2(百万円)				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。 また、沓座の土砂堆積撤去など維持作業を適切に行う。					

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					1.2					1.3
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考										
予防保全型										

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号	5	施設管理者	増毛町
路線名	別苺線	林道種類及び区分	普通、自動車道2級	橋梁名	第2紅葉橋
施設の所在地	増毛郡増毛町別苺	起点からの距離	11024m	建設年度	1992
供用年数	27	種別	PC床版橋	型式	PC桁
道路橋示方書	平成2年	橋格(設計荷重)	一等級(TL-20)	橋下条件	河川

林道管理区分	開放(区間)林道	理由	森林施業が5ヶ年以内に見込まれる			
利用区域内施業計画	計画年度	R2	施業種別	伐採、運搬	面積	556
	計画年度	R3	施業種別	造林、保育	面積	556

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.4m		幅員(車道幅員)	5.2m(4.0m)	
	施設の構造等	上部工型式	プレテン床版				
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無	
		支承形式	ゴム板沓	落橋防止の有無	無		
		橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-			
施設の目的利用実態等	・年1回程度の利用区域内施業に利用している。						
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年8月16日					
	調査結果	・伸縮装置に土砂詰まりd→Ⅱ、排水施設に腐食d→Ⅱ。					
	健全性の診断結果	I	全体的に損傷は軽微であり、道路橋の機能に支障が生じていないことから経過観察とする。				
	劣化原因	・伸縮装置、舗装の凹凸→経年劣化					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和2年度～令和11年度					
	内容	土砂堆積撤去を維持工事対応。					
	実施予定時期	R6: 橋梁定期点検					
	施設の優先度	下	(優先度の考え方) 管理区分④: 開放(区間)林道、森林施業(運搬作業)が年1回程度以上、橋長15m未満健全性の診断結果: Iより、橋梁改良の優先順位は、18段階中ランク外。				
	対策費用(概算)	R6: 橋梁定期点検 約1.0(百万円)					
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行う。						

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
対策費用(百万円)					1.0					1.1
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考										
一般管理型										